

三須田 善暢（岩手県立大学 盛岡短期大学部国際文化学科 准教授）著

農村の組織化と営農志向

——長期不況下の庄内農村研究（1）——

A5 判上製 360 頁 本体 3800 円

本研究は、山形県の農村（主として庄内地方）を舞台とした、いわゆるバブル経済崩壊以降の長期不況下における農家経営と村落の動向を、叙史的に分析したモノグラフである。事情により2部構成となり、第1部の本書では営農志向や産地化・組織化を扱い、後日出版予定の第2部では新規農業参入者や村落内集団を切り口にする。日本農村社会学は、周知のように村落（部落）のモノグラフ研究をその基礎としてきた。本研究もその流れに連なるものである。（「はじめに」より）

はしがき

序章

- 第1節 研究の背景
- 第2節 本研究の課題
- 第3節 本書の構成

第3節 背景にある社会関係

第4節 終わりに

第1部 農村の組織化と営農志向

第1章 庄内農業・農村の概況

——1990年代後半以降の統計の整理から

- 第1節 農家経済の動向——水稲作を中心に
- 第2節 水稲作以外の状況
- 第3節 農業経営規模の変化と若手就農者
- 第4節 小括

第5章 2020年における中野曾根の営農志向

- 第1節 はじめに
- 第2節 北平田地区の集落営農の経緯
- 第3節 2020年における中野曾根の概況とミニRCの経緯
- 第4節 2020年における中野曾根の営農志向
- 第5節 終わりに

第2章 水稲単作・兼業化深化村落における営農志向とその特徴——山形県酒田市中野曾根の事例

- 第1節 はじめに
- 第2節 中野曾根における営農志向と典型事例
- 第3節 終わりに

第6章 花卉複合作優位村落における営農志向とその特徴——山形県東田川郡庄内町連枝の事例

- 第1節 はじめに
- 第2節 連枝における営農志向と典型事例
- 第3節 終わりに

第3章 兼業化の深化と稲作生産組織の動向

- 第1節 はじめに
- 第2節 両組織の設立と集団栽培の解散
- 第3節 兼業化の進行・深化期の変化
- 第4節 終わりに——今後の方向性に関して

第7章 花卉産地の形成と先駆的農民

- 第1節 はじめに
- 第2節 輸出球根栽培への取り組み
- 第3節 危機と克服
- 第4節 ストックらの産地形成
- 第5節 終わりに

第4章 農作業の広域組織化とその性格

——山形県酒田市北平田地区における無人ヘリ防除組織等を例にして

- 第1節 はじめに
- 第2節 無人ヘリ防除組織の設立経緯と現状

第8章 2020年における連枝の営農志向

- 第1節 はじめに
- 第2節 2020年における連枝の概況
- 第3節 2020年における連枝の営農志向
- 第4節 終わりに

(株) 創風社 東京都文京区本郷 4-1-7-2 振替 00120-1-129648 TEL 03-3818-4161

soufusha.co.jp

FAX 03-3818-4173

きりとり線

書店でご購入の場合、この用紙をお持ちください。

創風社刊
申し込み書

TEL 03-3818-4161
FAX 03-3818-4173

三須田 善暢著
農村の組織化と営農志向

本体 3800 円 () 部

ISBN978-4-88352-271-2

創風社 図書目録 希望 () 部

取り扱い書店名